

労務コンプライアンスの チェックポイントと対策



労働時間 / ハラスメント / 残業代未払い / 高年齢者雇用 / 偽装請負 など

いま、企業の経営・人事にとって労働法の遵守は、社会から当然に求められることです。

労働法違反には、労基署の是正勧告、裁判所での労務紛争、企業の信用問題などのリスクがありますが、新たな法改正や行政解釈、裁判例が日々出される中、意図せずに法的に問題ある運用・対応をしてしまう懸念があります。

そこで、本講義では、企業・組織が守るべき労務コンプライアンスのチェックポイントを洗い出し、現実的な実務対応策とともに徹底解説します。

日時 令和5年 **5月19日** (金)
10時～16時30分

受講料 **10,000円/名** (消費税込)

① 会場受講
ウインクあいち17階セミナールーム
名古屋市市中村区名駅四丁目4-38

② Web受講
Zoomウェビナー使用

講師 石寄・山中総合法律事務所
パートナー 弁護士

橘 大樹 氏



講義内容

第一章 労務コンプライアンスとは何か

- ① 労働法違反の経営リスク化
- ② 労基署の是正勧告と書類送検の動き
- ③ コーポレートガバナンスコード改訂

第二章 労働時間・割増賃金のチェックポイント

- ① 労働時間の把握方法 (自己申告・PCログ)
- ② 管理監督者の「割合」論
- ③ 変形・フレックスの注意点
- ④ 固定残業代の最新判例解説
- ⑤ 年次有給休暇

第三章 労働基準法のチェックポイント

- ① 労働条件明示
- ② 過半数代表者の選任
- ③ 必要な労使協定リスト
- ④ 意見聴取・届出、周知
- ⑤ 消滅時効 (当分3年)

第四章 法令遵守状況のチェックポイント

- ① セクハラ・マタハラ・パワハラ
- ② 同一労働同一賃金
- ③ 高年齢者雇用安定法と70才までの就業継続
- ④ 障害者雇用促進法
- ⑤ 労働安全衛生法
- ⑥ 偽装請負リスク
- ⑦ 2022年4月・10月施行の育児介護休業法改正
- ⑧ 2022年7月の改定版副業・兼業ガイドライン

第五章 労務リスク発見時の対応策

- ① 割増賃金の遡及支払いの進め方
- ② 管理監督者の「割合」が多すぎると指摘されたら
- ③ 36協定違反が発見されたらどうする?

第六章 労務リスク低減に向けた予防策

- ① 長時間労働の予防策
- ② ハラスメント (セクハラ・パワハラ) の予防策
- ③ 情報漏洩・SNS・競業避止をめぐる予防策

お申込み
お問合せ

公益財団法人愛知県労働協会 労働教育グループ ホームページ又はFAXにてお申込み下さい。

TEL.052-485-7154 <ホームページ> <https://ailabor.or.jp/rodo>
<E-mail> rodo@ailabor.or.jp



お申込みいただいた方には、受講票・連絡事項・受講料振込用紙等をお送りします。
お申込み後2週間を過ぎても受講票等が届かない場合は、お手数ですがご連絡下さい。

お申込みフォーム

【受講申込書】 労務コンプライアンスのチェックポイントと対策

Y2

FAXでのお申込みはA4のまま切りとらずお送りください。

FAX.052-583-0585

受講方法選択 (いずれかに○)		会場受講		WEB受講 (受講者email アドレス記入)	
受講者氏名	フリガナ		連絡先及び連絡先住所 (勤務先・自宅) ○印をつけてください		
	住所 〒	TEL (日中連絡のつく番号をご記入ください)			
性別	年齢 歳	会社名/団体名		フリガナ	
		部署名		連絡者氏名	
受講者 [E-mail] ※WEB受講希望の場合、必ずご記入ください。 (招待用URL送付先)				メールマガジンの配信 ○印をつけてください 希望する ・ 希望しない ・ 登録済	

*お申込み頂きました個人情報 (氏名・住所等) は、お問い合わせや案内文書の送付、返信、本人確認のために使わせて頂きます。(公益財団法人愛知県労働協会個人情報保護規程第4条に基づき取り扱います。)